

2013年（平成25年）7月12日

報道関係者各位

株式会社 **オリコム**
代表取締役社長 正盛 和彦

パナソニック「LED電球」

JR品川駅で「LED電球のある部屋」を再現

株式会社オリコム（本社：東京都港区、代表取締役社長：正盛 和彦、資本金1億6,500万円）は、パナソニック株式会社（本社：大阪府門真市、代表取締役社長：津賀 一宏）が6月に発売を開始したLED電球 新「全方向タイプ」の発売告知で首都圏にて各種交通広告を実施。JR品川駅においては「LED電球のある部屋」を再現した特殊駅広告を掲出します。

昨今、省エネ意識の高まりや厳しい電力需給を背景に、省エネ性能に優れ手軽に交換できるLED電球が注目されています。その普及数は2012年度末に業界全体で約6000万個に達しており、市場の拡大に伴い、種類や機能も増えた結果、市場の一部からは「白熱電球からLED電球に買い替える際、わかりにくく選びにくい」などの声も目立ちはじめ、さらなる普及の課題となっています。

本製品は、従来は光色により異なっていた明るさ（ルーメン）について、本体のLEDモジュール設計を見直すことにより、3光色（電球色相当、昼白色相当、昼光色相当）とも同じ明るさ（ルーメン）に揃え、選びやすくしました。また、白熱電球とほぼ同じ配光角（光の広がり）約300度で全方向に明るいLED電球を実現しています。

掲出する特殊駅広告では、藤子・F・不二雄さんの人気キャラクターを起用し、3種類のLED電球によって演出される「3色の部屋」を立体で再現することで、「3光色の違い」と「明るさの統一・広がり」を強く印象づける商品展示を行い、店頭で実施している「点灯ボックス」との連動を図っています。特殊展開と同時に周辺では臨時集中貼りポスター・柱巻広告を掲出し、JR品川駅をLED電球でジャックします。

＜パナソニック「LED電球」“LED電球のある部屋”特殊駅広告の概要＞

- 媒体名：JR東日本品川駅 中央改札内 臨時ホーム階段脇イベントスペース
同時期にJR品川駅臨時集中貼りポスター・柱巻広告も掲出します。
- 掲出期間：2013年7月11日（木）～2013年7月17日（水）
- デザイン・企画制作：パナソニック株式会社
- 特殊展開メディア掲出：株式会社オリコム



リリースに関するお問い合わせは、下記までお願い致します
株式会社オリコム 経営企画局広報担当 川野辺
<http://www.oricom.co.jp/>
TEL. 03-6733-2021
- 2 -